

浅口市立鴨方東小学校 令和6年度 学力・学習状況調査結果の概要 令和6年10月18日公表

全国学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科 条件に合わせて答えを選択すること。 ○算数科 表やデータを読み取ること。 ○無回答率が低い。 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科 複数の資料や条件を関連付けて読み取り、課題を解決すること。 ▲国語科 漢字の読み書きなどの基礎的な内容の定着。 ▲算数科 小数の計算や体積を求める計算など、基礎的な内容の定着。 ▲算数科 図形領域。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会貢献に対する項目。 ○ICTを活用した学習。(ほぼ100%) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲協働的な学習のよさの実感。(全国の平均と比べると低い) ▲学習したことが社会に出たときに役立つと思うかという項目。

岡山県学力・学習状況調査の概要	
学 力 面	学 習 状 況 面
<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語科 自分の思いや考えを明確に書くこと。【3年生】 ○ローマ字を正しく読むこと。【4年生】 ○国語科 資料を読み取り、条件に合わせて書くこと。【5年生】 <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲国語科 語彙の習得。【3~5年生】 ▲国語科 文章を読み取って、順序立てて考え、条件に沿って課題を解決すること。 ▲算数科 図形領域や単位換算など、見えないものを想像し、課題を解決すること。 ▲算数科 数の表し方、十進位取り記数法の定着。 ▲図と式を関連付けて考える力とその記述。 	<p><成果></p> <ul style="list-style-type: none"> ○家で計画を立てて勉強をしている。(非常に高い) ○多くの児童がめあてを意識して学習している。 ○友達との間で考えを深めたり広げたりしている。 ○分かった点・分からなかった点を分析している。 ○ICTを活用した学習。(ほぼ100%) ○自尊感情に対する質問項目。(昨年度よりも向上) <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ▲協働的な学習の場面で、自分の考えが上手く伝わるように資料や文章、話の組立てなどを工夫してできているという項目。

改 善 策	
学 校 で の 取 組	
<p>学びの土台</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 生活支援アプリ「心の天気」で児童の実態把握に努め、「ほめ言葉トランプ」や「おにぎり一筆箋」などを活用し、互いのよいところを認め合う取組を通して、人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ② 児童主体の行事や様々な活動を通して非認知能力の向上を図る。 ③ 「心マトリクス」を活用し、自分の現在位置を認識するとともに、自分自身を認めることができるようにする。 	
<p>学びの定着</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 基礎的な内容と既習事項の定着の時間の確保 (ICT の効果的な活用、「けてぶれ学習」で繰り返し漢字や計算に取り組む、モジュールタイムの活用、授業と連続性のある家庭学習) ② 国語科の学習を中心に、語彙力を高める時間を確保する。 ③ 具体物や半具体物、教科書コンテンツの AR 活用などの実感を伴う活動を学習に取り入れ、量感を身につけることができるようにする。 ④ 学習を振り返る際に学習支援アプリ「学びの天気」を活用し、校内で統一した視点を基に言語化して記述することにより、学習内容のメタ認知が進むようにし、学習内容の定着と自己肯定感の高揚を目指す。 ⑤ 自由進度学習を効果的に取り入れたり、「QNKS 思考法」や思考ツールを活用したりし、学習時間や単元計画のマネジメントを行うことで、思考力を高める時間を確保する。 	
<p style="text-align: center;">あい・かもがた学園 での 取 組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○カリキュラム「あい・かもがた学」に沿って、中学校区で一貫した指導を行い、基礎学力の定着、学び合い活動の充実を図り、自立した学習者を育成する。 ○「ほめ言葉のシャワー」の取組を通して、互いに認め合う温かい人間関係作りに努めるとともに自己肯定感を高めることができるようにする。 ○各校の授業参観や情報交換の機会を設け、園・小・中学校のスムーズな接続を図る。 	
<p style="text-align: center;">家庭・地域へのお願い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な生活体験や自然体験をする機会を設けて非認知能力を高め、学びの土台を築いてください。 ・学習や生活等、様々な場面で子どもたちのよさや頑張りをほめたり、認める声かけをしたりしてください。 	